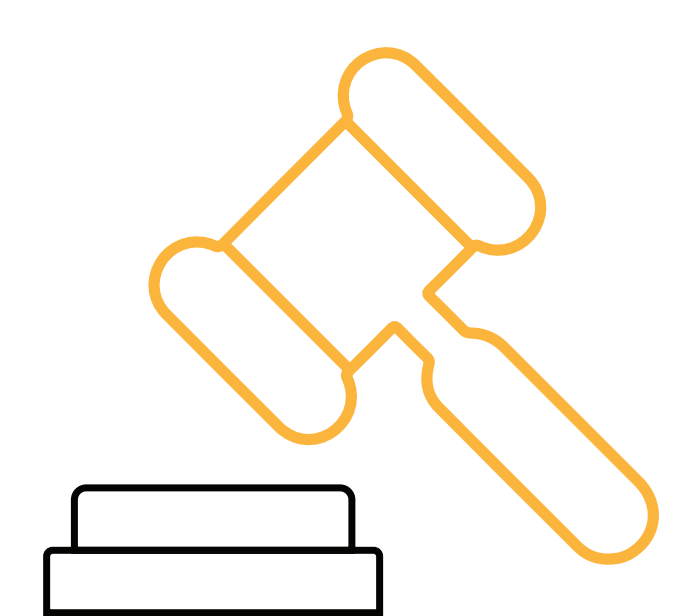


# 2018年 ベリタス データプライバシーに関する 消費者調査



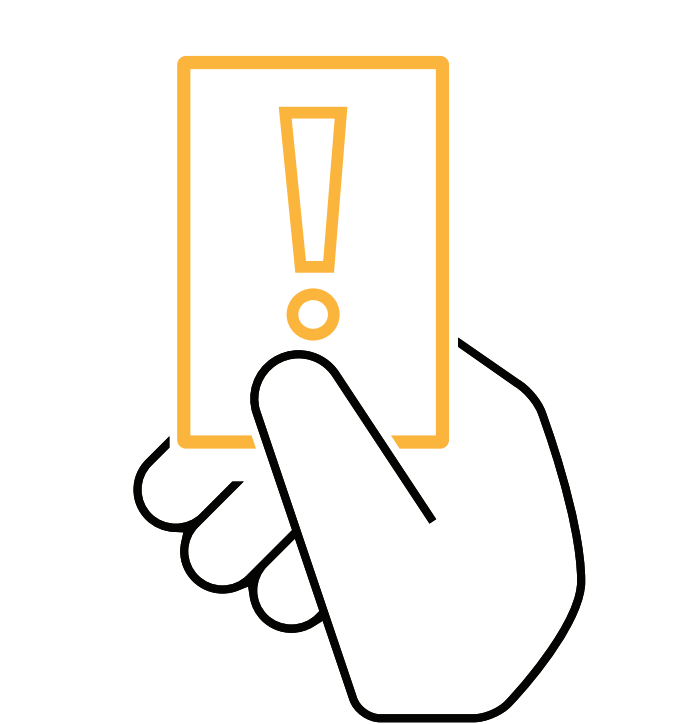
## データプライバシー: 企業に対する消費者の信頼が低下

38% の消費者は、多くの企業が消費者のデータを適切に保護していないと考えています。



## 個人データの保護を怠る企業には罰を与えると消費者が 明言

消費者は、個人データを適切に保護している企業を評価する一方で、それができていない企業には、他社で買い物したりブランドの評判を失墜させたりして懲らしめようとするのが調査で判明しました。



## 制裁

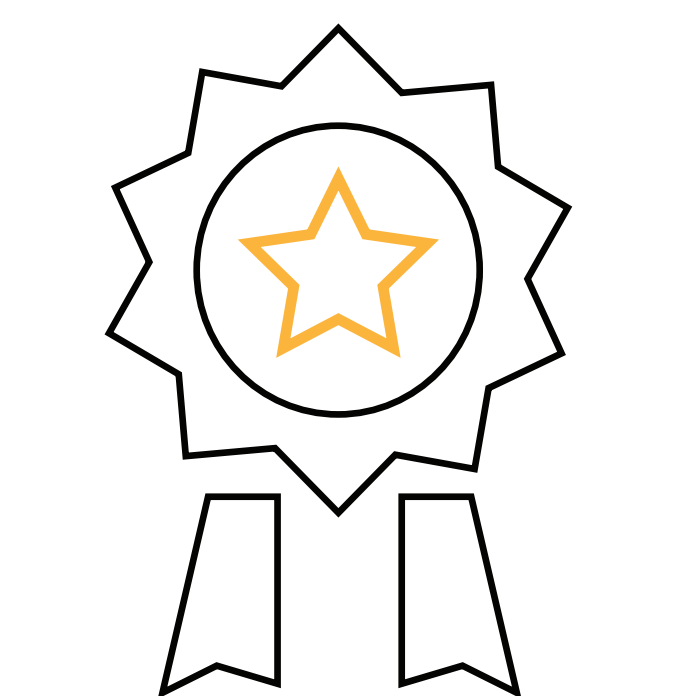
62% は、データ保護を怠る企業からの購入を取りやめます。

48% は、特定ブランドへのロイヤリティを捨て去り、競合他社への乗り換えを考えます。

81% は、その企業をボイコットするように友人や家族に勧めます。

74% は、その企業について規制当局への報告までも行います。

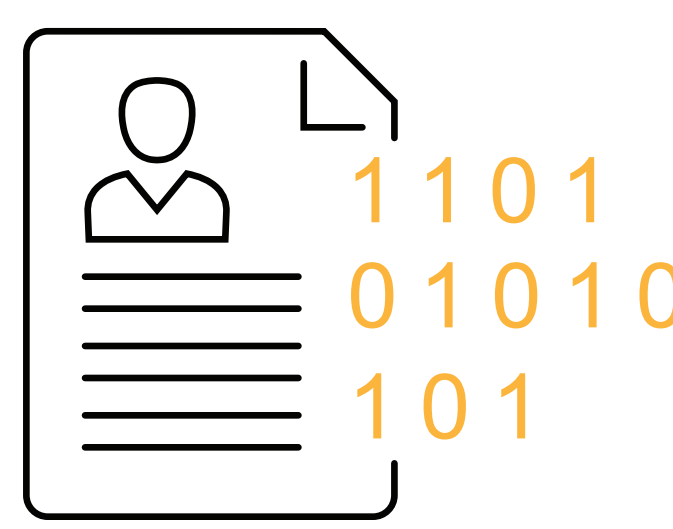
65% は、その企業に関して否定的なコメントをオンラインで投稿します。



## 報酬

59% は、データ保護に関して信頼できる企業への支出を増やします。

27% は、データ保護に真剣に取り組む企業への支出を最大 25% 増やしてもよいと考えています。



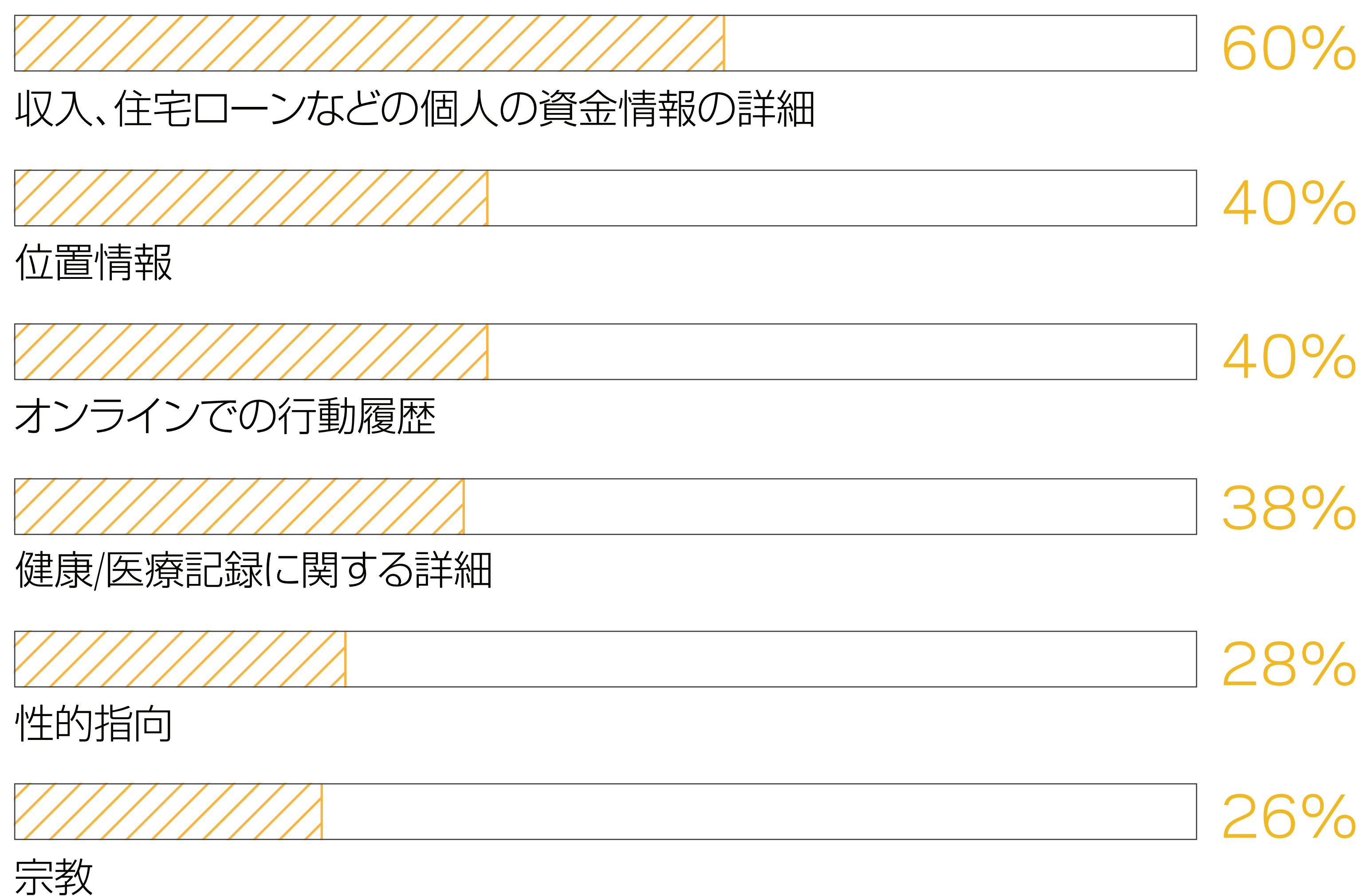
## 個人データの収集に関する懸念の高まり

92% は、個人データの保護に関して懸念を抱いています。

40% は、企業が個人データをどのように使用または共有しているかを把握できていません。

21% は、個人データの盗難を非常に懸念しています。

個人データの使用および共有方法については関心が高まっていますが、調査では、消費者は以下のような個人データについて共有に同意しないことがわかりました。



## 企業にはデータプライバシーに関する新たな規範への対応 が必要

消費者は、より高水準の透明性と説明責任を企業に求めています。「新たな規範」のもとで消費者は、適切なデータ保護対策を示している企業には報いるとともに、そうでない企業には罰を与えることになるでしょう。企業が消費者の支持を得て報われたいならば、信頼できる管理者であることを示す必要があります。

ベリタスでは、情報ガバナンスに対して企業が包括的なアプローチで取り組むことによって、GDPR などのデータ保護規則を遵守できるうえに、社内での機動性や革新性を高めることができると考えています。

詳細はこちら: [www.veritas.com/ja/jp/solution/digital-compliance](http://www.veritas.com/ja/jp/solution/digital-compliance)